

愛知の土地改良

参与会・支会長会議	2	事業情報	8
本会での催し	3	土地改良区情報	8
叙勲	3	広報活動	9
要請活動	4	お知らせ	10
研修会	6		

vol. **217**
令和8年9月号



田んぼアート

制作：茶屋新田田んぼアート実行委員会（名古屋市港区）



令和8年度 第1回 参与会開催

7月7日(火)、第1回参与会を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

中根俊樹専務理事の挨拶の後、参与を代表し、下平達也愛知県農林基盤局長より挨拶をいただき、議事に入った。

提出した議案は9月9日開催の理事会に提出する、令和7年度事業報告並びに一般会計収支決算等が協議された。

また、本会役員研修会として参加する全国土地改良大会奈良大会の内容及び行程、愛知県土地改良事業物故功労者慰霊祭並びに愛知県土地改良推進大会、農林水産省並びに関係国会議員への要請活動について現状を報告した。



令和8年度 第1回 支会長会議開催

7月30日(木)、第1回支会長会議を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において、中野治美会長(海部支会長)、三浦孝司副会長(豊田支会長)、長谷川信夫名古屋副支会長、竹田和弘一宮副支会長、神長健一半田支会長、石川克則岡崎支会長、山田高生幡豆支会長、土屋浩豊橋支会長出席のもと開催した。

提出した下記議案は、いずれも原案どおり決定された。

記

- 協議事項
- (1) 理事会の進行について
 - (2) 理事会付議事項について
 - (3) その他



愛知県大区画化等推進協議会設立総会を開催 大区画化等加速化支援事業の推進に向けた体制を構築

令和8年5月13日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、「愛知県大区画化等推進協議会」の設立総会を開催した。

国においては、令和7年度補正予算により大区画化等加速化支援事業が創設され、新たな土地改良長期計画において位置付けられた生産コストの低減を図るため、農地の大区画化の推進が進められている。

本事業は、畦畔除去等の簡易整備を農業者自らが機動的に実施することにより、基盤整備の加速化を図るものである。従来の基盤整備事業と異なり、事業量や事業費の要件が設けられていないなど、取り組みやすい制度となっている。

また、公共事業として実施するのではなく、協議会を通じて国から農業者へ直接助成が行われる仕組みであり、従来の事業とは異なる新たな枠組みとなっている。

本協議会は、大区画化等加速化支援事業の推進を通じて、農地の生産性向上および食料安全保障の確保に資することを目的として設立されたものであり、設立時点で愛知県および県内市町村など53団体が参画している。

当日は、38団体の会員が出席し、水土里ネット愛知の中根俊樹専務理事が挨拶を行い、「国の食料安全保障の観点からも大区画化の推進は重要であり、関係機関が連携して取り組んでいく必要がある」と述べた。

その後、議長に中根専務理事が選任され、協議会規約の制定、監事の選任、令和8年度事業計画および収支予算について審議が行われ、いずれの議案も原案どおり承認された。

これにより、本協議会は正式に設立され、今後は県、市町村、関係機関が連携しながら、大区画化等加速化支援事業の円滑な推進を図っていくこととしている。



叙 勲

春の叙勲

政府は令和8年4月29日付で令和8年春の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良関係者からは羽山芳輝元武豊町長が旭日小綬章を、伊藤保徳元瀬戸市長が旭日双光章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお願いいたします。

旭日
小綬章



羽 山 芳 輝 様
元 武 豊 町 長

旭日
双光章



伊 藤 保 徳 様
元 瀬 戸 市 長

農業農村整備事業に関する重点要請活動

6月10日(水)、東海農政局において、中根俊樹専務理事より令和9年度農業農村整備事業に関する21項目の重点要請を、秋葉一彦東海農政局長を始め局幹部職員へ実施した。



東海農政局幹部への要請



秋葉東海農政局長に要請書を手交

要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

土地改良関係の予算は、令和7年度の補正予算2,439億円と、令和8年度の当初予算4,504億円を合わせて6,942億円を確保し、平成21年度の当初予算を上回る対応に重ねてお礼を申し上げます。

しかしながら、地域ニーズに応じた事業を安定的、計画的に展開するためには、農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠であります。当初予算の割合は、平成21年度当初比で78%に留まっています。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、国営事業・水資源機構営事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構施設はこれまでも整備が進められてきましたが、このうち、木曾川用水施設は長年に亘る地盤沈下等による機能低下が生じていることから、着実な事業実施をする必要があります。また、愛知用水及び豊川用水施設は、農業用水の安定供給のため、老朽化対策のみならず耐震対策を計画的に進める必要があります。

また、近年の自然災害の発生状況や大規模地震発生の将来予測を踏まえ、安定した農業経営、農村の安全・安心の暮らしの実現のため、防災減災に資する農業水利施設の地震・豪雨対策の計画的な整備が喫緊の課題であります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、21項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

令和8年6月

愛知県土地改良事業団体連合会
会長 中野 治 美

重点要請21項目

I 農業の成長産業化、国土強靱化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業農村整備事業の促進について
 - (1)老朽化対策について
 - (2)防災・減災・国土強靱化について
 - (3)農業生産基盤の強化について
- 2 防災重点農業用ため池の防災工事の促進について
- 3 農業集落排水事業の促進について
- 4 FRPM管の漏水事故による第三者被害の防止について
- 5 農地防災事業の効率的な実施に向けた設計基準等の改定について
- 6 中山間地域における土地改良事業の促進について
- 7 農業農村整備事業における費用対効果の分析手法の改善について
- 8 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 9 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 10 水利施設管理強化事業の促進について

II 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 2 明治用水頭首工地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 3 矢作川総合南部地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 4 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 5 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 6 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 7 水資源機構営繕事業の制度拡充について
- 8 水資源機構営繕 豊川用水二期事業の推進について
- 9 水資源機構営繕 木曽川用水濃尾第二施設改築事業の推進について
- 10 水資源機構営繕 愛知用水次期事業の2027年度着工について
- 11 水資源機構施設の更新整備について

6月15日(月)には、農林水産省農村振興局において、中根俊樹専務理事より同内容の要請について、松本平農林水産省農村振興局長を始め農村振興局幹部職員への要請活動を実施した。また、関係の国会議員に対しても要請活動を行った。



松本農林水産省農村振興局長に要請書を手交



進藤参議院議員に要請書を手交

農業農村整備の集い

―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―

6月15日(月)、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボで農業農村整備の集いが開催された。

この集いは、全国の土地改良関係者が一堂に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と2回開催されており、会場には全国から土地改良関係者が約1,300名参集した。本県からは、本会会員、愛知県農林基盤局、あいち水土里ネット女性の会より29名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長は、「農業の構造転換を集中的に進めるための別枠予算を確保した。我々土地改良団体は、この予算を活用し農業・農村の発展にむけて、積極的に取り組んでいかなければならない。」と訴えた。

続いて、鈴木憲和農林水産大臣が、「農業構造転換集中対策における別枠の予算も含めて総額6,942億円確保することができた。新しい予算編成に向けた議論が進められているが必要な予算の総額を確保し、未来に向けて“闘う土地改良”の旗を掲げて農林水産省が先頭に立って一緒に様々な壁を乗り越えていきたい。」と述べられた。

また、進藤金日子参議院議員(都道府県土連会長会議顧問)からも祝辞が述べられ、安定的な予算確保や土地改良事業の更なる推進への尽力を誓った。

最後に、予算の確保へ向けての“ガンバロウ三唱”が、石川房代会長(とちぎ水土里ネット女性の会)より発声され、土地改良団体の更なる活性化のため、一致団結することを誓い閉会した。



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶



進藤参議院議員による祝辞

研修会

水土里情報システム操作 研修会 開催

水土里情報システムを用いて業務の効率化を図るための実務的な研修として、システム利用者に対する研修会を以下の内容にて実施した。



日 程	対 象	研 修 内 容
6月2日(火)～5日(金) 7月13日(月)～14日(火)	システム利用中の 22団体 (31名参加)	・認証 ・画面構成 ・表示パターン管理・計測 ・属性表示 ・塗り分け ・ラベル表示 ・検索 ・メモの作成 ・印刷等 ・データー一括入力
7月16日(木)～17日(金)	愛知県職員 (18名参加)	・県事業情報の運用 ・新規地区作成及び継続地区更新 ・認証 ・画面構成 ・表示パターン管理 ・計測 ・属性表示 ・塗り分け ・ラベル表示 ・検索 ・メモの作成 ・印刷等

令和8年度

「あいち水土里ネット女性の会」総会及び研修会

7月16日(木)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、「令和8年度 あいち水土里ネット女性の会総会及び研修会」を県内土地改良区等の女性役職員66名出席のもと開催した。

最初に安達直子会長(水土里ネット南陽)、中根俊樹専務理事の挨拶のあと、女性の会顧問の進藤優貴子さま(進藤金日子参議院議員令夫人)からも温かいお言葉をいただいた。

提出議案である「令和7年度活動報告について」「令和8年度活動計画について」は、いずれも可決された。

総会終了後に研修会を開催し、鳥居充裕係長(水土里ネット愛知豊橋支会)による「農地・農業用施設災害復旧事業について」の講義があり、災害発生時における土地改良区の対応等についての説明がなされた。また、講談師の旭堂鱗林^{きよくどう りん りん}さんを講師に招き、「人を惹きつける話し方」と題して講談師として人前で話すときに心がけていること、話し上手になるにはまず聞き上手になることが重要など楽しい話術を交えた講演に参加者は興味深く聞き入っていた。



進藤顧問による挨拶



安達会長による挨拶



鳥居係長による講義



旭堂鱗林氏による講演



研修会の様子



総会出席者集合写真

土地改良区機能強化支援事業 情報

令和8年度 愛知県受益農地管理強化委員会

6月8日(月)、本会6階第1研修室において愛知県受益農地管理強化委員会を開催し、下記の議案について協議し、承認された。

記

- 1 令和7年度受益農地管理強化対策実績報告並びに収支決算について
- 2 令和8年度受益農地管理強化対策実施計画並びに収支予算について
- 3 遅延地区について

令和8年度 愛知県管理運営体制強化委員会

6月8日(月)、本会6階第1研修室において愛知県管理運営体制強化委員会を開催し、下記の議案について協議し、承認された。

記

- 1 令和7年度施設・財務管理強化対策実績報告並びに収支決算について
- 2 令和8年度施設・財務管理強化対策実施計画並びに収支予算について
- 3 指導監査について

土地改良区情報

豊橋市土地改良区合併予備契約調印式

日時：令和8年8月20日(木)午前10時

場所：アイプラザ豊橋

調印者：神藤 一成 高豊土地改良区理事長
水鳥 高道 二川土地改良区理事長
小久保三夫 豊橋開拓土地改良区理事長
前田 浩伸 豊橋南部土地改良区理事長
宮野 豊彦 豊橋北部土地改良区理事長
鈴木 靖弘 豊橋北西部土地改良区理事長

立会人：長坂 尚登 豊橋市長
松崎 正尚 豊橋市議会議長
柴田 尚 愛知県東三河農林水産事務所所長



令和8年11月に合併総代会を開催。令和8年12月に愛知県知事へ認可申請を行い、令和9年2月に認可予定です。

令和8年度 あいちの農業用水展

イオンモールNagoya Noritake Garden(名古屋市西区則武新町)で開催!

「水の週間」に関連して、8月1日(土)から7日(金)にかけて愛知県、水土里ネット愛知、(公財)愛知・豊川用水振興協会主催(愛知県農業土木測量設計技術研究会共催)で、「あいちの農業用水展」をイオンモールNagoya Noritake Gardenで開催した。

「あいちの農業用水展」は、県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうことを目的として毎年開催している。

メインイベントを開催した7日は愛知県内の農業用水に関するパネル展示や幅4メートルに及ぶ大規模農業用水マットの設置を行った。また、水土里ネット愛知のブースでは「用水のいきものカード釣り」を行い、多くの来場者に体験していただいた。

会場は終日にぎわいが絶えることなく、イベントは盛況のうちに幕を閉じた。



パネル展示

用水のいきもの
カード釣り



第25回 あいちの農業・農村フォトコンテスト募集



活力ある「あいちの農業・農村」を広く一般にアピールし、愛知県の農業農村整備を強く推進していくため、以下のテーマにてフォトコンテストを開催いたします。ふるってご応募ください。

テーマ 『愛知の四季を彩る土地改良施設』

賞

- 水土里 フォト大賞 1点(賞状、副賞3万円)
- 水土里 フォト優秀賞 2点(賞状、副賞1万5千円)
- 豊かな農地あいち特別賞 1点(賞状、副賞1万円)
- 水土里 フォト入選 10点(賞状、副賞5千円)
- 水土里 フォト四季賞 4点(賞状、副賞5千円)
- 多面的機能共同活動賞 3点以内(賞状、副賞5千円)
- 水土里 フォト参加賞 参加者全員(記念品)

応募締切 令和8年10月31日
(当日消印有効)

詳細は、水土里ネット愛知
ホームページをご覧ください。



<https://www.aichi-doren.or.jp>

令和8年度 田んぼアート観覧会

○名古屋市

7月12日(日) 茶屋新田田んぼアート実行委員会主催(構成団体: 茶屋新田地域資源保全隊、愛知県、名古屋市)による『令和8年度田んぼアート観覧会』が名古屋市港区茶屋において開催された。

「田んぼアート」の製作は今回で15回目を迎えた。今年は、サカイタカヒロ氏のヒマリとくまがモチーフとなっている。

当日は晴天にも恵まれ多くの親子連れでにぎわい、訪れた来場者は観覧用の高台から田んぼアートの見事な出来栄を堪能されていた。

なお、今後の行事として、9月20日(日)に稲刈り、12月13日(日)には収穫祭が予定されている。



名古屋市田んぼアートの全景

○安城市

7月18日(土) ふれあい田んぼアート実行委員会主催による「ふれあい田んぼアート2026鑑賞会」が安城市和泉町セツ田において開催された。

今年で19回目を迎えるふれあい田んぼアートは、安城市消防団のマスコットキャラクター「いちじゅーちゃん」と「かじなしくん」と稲作アドベンチャーゲーム天穂のサクナヒメの主人公「サクナヒメ」を盛り込んだ絵柄となっている。

当日訪れた来場者は、高所作業車から絵柄を鑑賞されていた。



安城市田んぼアートの全景

第17回 愛知県土地改良事業物故功労者慰霊祭 並びに 第17回 愛知県土地改良事業推進大会

開催日時 令和8年11月25日(水) ・慰霊祭:午後2時 ・推進大会:午後3時

開催場所 真宗大谷派名古屋別院(東別院) 名古屋市中区

研修会のご案内

研修会・催し名	開催月日	対象者
水土里ネット女性理事等意見交換会(東海ブロック)	10月13日(火)	水土里ネット理事および職員
農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会	10月15日(木)、16日(金)	同盟会会員役職員
水土里ネット事業視察研修会	10月29日(木)、30日(金)	事業実施会員役職員
農地・水・環境のつどい	11月29日(日)	多面的機能活動組織等
適正化事業加入団体現地研修会	12月18日(金)	市町村、水土里ネット職員
技術実践向上研修	年内予定	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット役職員研修	令和9年1月予定	水土里ネット役職員

農家負担金軽減支援対策事業のご案内

～利子助成等により償還額の軽減が図られます～

1. 地域生産基盤保全強化支援事業【利子助成】

国の補助を受けて実施された土地改良事業等※の実施地区において、要件を満たすことが確実と見込まれる地区に対して、保全強化支援計画に従って、受益者負担金の償還利子相当額の5/6を限度として助成

※担い手育成農地集積事業（公庫の無利子貸付）の対象事業を除く。

採択要件（1～4のいずれかに該当）

- ①目標年度までに、担い手農地利用集積率が以下のとおり増加すること。

採 択 時	目 標
80%未満	10ポイント以上増加※
80～90%未満	5ポイント増加
90～95%未満	95%以上
95～100%未満	シェア増加
100%	維持

※目標集積率60%未満は採択しない。

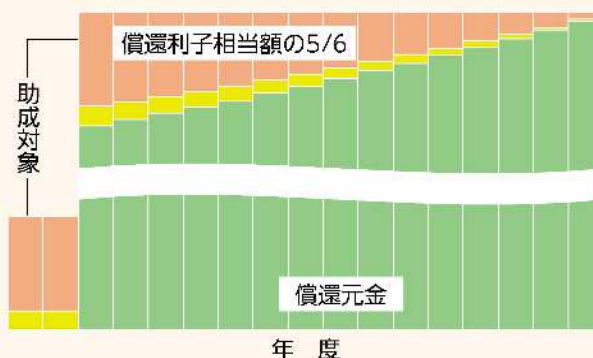
- ②目標年度までに、高収益作物※の生産額がおおむね20%以上増加すること。

※ 高収益作物とは、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物（野菜、花き・花木、果樹など）をいう。

- ③輸出事業計画の認定規程に基づき認定された輸出事業計画との連携が図られること。

- ④先端的な技術を活用した生産方式との適合が図られること。

利子助成のイメージ



借入額が多ければ利子が大幅に軽減!

県営事業において、54百万円を6年間（合計3億24百万円）2.95%、17年償還（うち据置2年）で借り入れた場合の最終償還までの負担額

償還利子額	101百万円
△利子助成額	84百万円
実質利子負担額	17百万円

2. 農地有効利用推進支援事業【利子助成】

農地耕作条件改善事業を実施し、担い手への農地利用集積率が8割以上となる地区に対して、農地利用推進計画に従って利子助成

採 択 時	目 標
80%未満	80%以上
80～100%未満	シェア増加
100%	維持

※採択時の集積率80%以上の地区が対象に追加

- （1）受益者負担金の償還利子相当額の5/6を限度として助成（事業費助成型）

- （2）農地中間管理機構が農地の出し手（所有者）に対する賃料の一括前払に必要な借入資金に係る償還利子相当額を助成（一括前払助成型）

なお、災害時に利用できる災害被災地域土地改良負担金償還助成事業【利子助成】もあります。

お問い合わせ先 愛知県土地改良事業団体連合会総務部水土里みらい相談室（☎052-526-0187）まで。

農業基盤整備資金の金利のご案内

令和8年8月20日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。

金利は金融情勢により変動します。詳しくは名古屋支店(TEL 052-582-0741)までお問い合わせください。

区 分	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	3.35%	—	—	—	—
団体営	3.20%	—	—	—	—
非補助事業 一般	3.20%	—	—	—	—
災害復旧	—	2.00%	2.45%	2.95%	3.20%

令和8年度 水土里レポーター

21世紀土地改良区創造運動の更なる浸透を図るため、地域の情報を発信していただく水土里レポーターが全国で活躍しています。令和8年度の本県のレポーターは、水土里ネット職員の方にそれぞれ委嘱し協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくをお願いいたします。

■水土里ネット南陽	主査	安達 直子
■水土里ネット愛知用水	総務課長	鈴木 英典
■水土里ネット豊田	工務課長補佐	加藤 利明 (敬称略)

全国から投稿された発信情報は、水土里レポーターからの報告(全国水土里ネットホームページ<https://www.inakajin.or.jp>)に掲載されております。本県レポーターの発信情報も掲載されていますので是非ご覧ください。

GREEN×EXPO2027のご案内

地球と。 咲きに行こう。

The Blooming Field of Planetary Citizens.



GREEN×EXPO 2027 2027年国際園芸博覧会

開催期間: 2027年3月19日(金) - 9月26日(日)
開催地: 神奈川県横浜市の旧上瀬谷通信施設

前売りチケット	1日券	大人:4,900円	小人:1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人:5,500円	小人:1,500円

公式販売Webサイト、または旅行代理店や各観光プレイガイドから購入できます。

主催:公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 <https://expo2027yokohama.or.jp/>

チケット購入はこちらから



各会場・エリア・ゾーン・コーナー
トラフィックマップ
(1/1 Expo 2027)

「農林水産省からのお知らせ」

残暑お見舞申し上げます。

水土里ネット愛知 会長 中野 治 美
役職員一同



みどり
水土里ネット愛知
愛知県土地改良事業団体連合会



〒451-0052 名古屋市西区栄生一丁目18番25号
<https://www.aichi-doren.or.jp>

総務部	総務課	052-551-3611 (FAX052-551-3630)
	水土里みらい相談室	052-526-0187 (FAX052-551-3630)
事業部	計画課	052-551-3614・3620・3621・3626 (FAX052-551-3631)
	整備課	052-551-3616・3622・3639 (FAX052-551-3632)
	地域保全課	052-551-3618・3623 (FAX052-551-3634)
	ため池サポートセンター室	052-551-3613 (FAX052-551-3634)
	施設管理課	052-551-3637・3638 (FAX052-551-3634)

